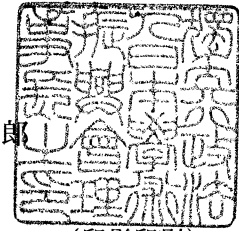


関係各研究機関代表者 殿

独立行政法人日本学術振興会
理事長 安西 祐 一 郎



(印影印刷)

平成26年度科学研究費助成事業－科研費－の公募について（通知）

このことについて、別添「平成26年度科学研究費助成事業－科研費－公募要領（特別推進研究、基盤研究（S・A・B・C）、挑戦的萌芽研究、若手研究（A・B））」（以下「公募要領」という。）により公募します。

ついては、貴職より関係者に周知していただくとともに、貴研究機関において、応募者がいる場合には、公募要領「V 研究機関の方へ」の内容に従い、応募手続等必要な事務を行ってください。

なお、公募は、できるだけ早く研究者が研究を開始できるようにするため、審査のための準備を早期に進めることができるように、平成26年度予算成立前に始めるものです。したがって、予算の状況によっては、今後、措置する財源等、内容に変更があり得ることをあらかじめ御承知おきください。

また、平成26年度科研費に応募する研究機関又は平成26年度に科研費の継続課題がある研究機関は、「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）」に基づく「体制整備等自己評価チェックリスト」を、平成25年10月4日（金）までに府省共通研究開発管理システム（e-Rad）を使用して提出してください（提出方法等については、文部科学省研究振興局振興企画課競争的資金調整室より平成25年7月11日付け通知されています。）。チェックリストの提出がない場合には、当該研究機関に所属する研究者の応募が認められませんので、御留意願います。

また、今回の公募要領における前年度からの主な変更点等について別紙のとおりまとめましたので、貴職より関係者に周知してください。

（本件担当）

〒102-0083 東京都千代田区麹町5-3-1
独立行政法人日本学術振興会

【公募要領全般】

研究事業部 研究助成第一課

電話 03-3263-4682, 4798, 1878, 0964, 4764, 4796

【特別推進研究、基盤研究（S）】

研究事業部 研究助成第二課

電話 03-3263-4254 （特別推進研究）

03-3263-4388 （基盤研究（S））

【基盤研究（A・B）、若手研究（A）】

研究事業部 研究助成第一課

電話 03-3263-1870, 4779, 4758, 0996, 4724

【基盤研究（C）、挑戦的萌芽研究、若手研究（B）】

研究事業部 研究助成第一課

電話 03-3263-1867, 1057, 1843, 1845, 0992

平成26年度における主な変更点

① 基盤研究（B）及び基盤研究（C）の審査区分として「特設分野研究」を新たに設けました。

「特設分野研究」は、審査希望分野の分類表である「系・分野・分科・細目表」（別表を含む）とは別に新たに設けられた審査区分です。

未開のまま残された重要な分野、技術の長足な進歩によって生まれつつある分野、分野横断的な研究から生まれることが期待される分野を対象として、学術コミュニティからの要望や最新の学術動向等を踏まえて、日本学術振興会の学術システム研究センターが候補分野を提案し、文部科学省の科学技術・学術審議会学術分科会科学研究費補助金審査部会において設定されるものです。

平成26年度公募では、以下の3分野が設定されました。

- ・ネオ・ジェロントロジー
- ・連携探索型数理科学
- ・食料循環研究

② 「系・分野・分科・細目表」を一部変更しました。

文部科学省の科学技術・学術審議会学術分科会科学研究費補助金審査部会において審議した結果、以下のとおり変更しました。

1) 分野「総合人文社会」

- ・分科「観光学」、細目「観光学」を追加しました。

2) 分野「医歯薬学」

- ・分科「境界医学」、細目「医学物理学・放射線技術学」を追加しました。

※上記細目の追加以外に、キーワードの見直しやキーワードによる分割を行いました。

③ 日本学術振興会特別研究員（SPD・PD・RPD）の科研費応募に関する制限を緩和しました。

日本学術振興会特別研究員（SPD・PD・RPD）については、特別研

究員奨励費以外の科研費研究種目への応募が認められておりませんでした
が、文部科学省の科学技術・学術審議会学術分科会研究費部会において議論
が行われ、日本学術振興会特別研究員（SPD・PD・RPD）が受入研究
機関において応募資格を得た場合には、平成26年度公募から以下の研究種
目への応募が可能となりました。

- ・新学術領域研究（研究領域提案型）の公募研究
- ・基盤研究（B・C）
- ・挑戦的萌芽研究
- ・若手研究（A・B）